

阿蘇グリーンストックが「ふれあいの森林づくり」会長賞！



▲阿蘇グリーンストックの皆さん。事務所は元JA永水支所です。興味のある方はぜひ、お立ち寄りください。☎35-1110

財団法人「阿蘇グリーンストック」はこの度、森づくりなどの活動が認められ、国土緑化推進機構の平成20年度「ふれあいの森林づくり」会長賞に輝きました。各都道府県の推薦団体の中から最高賞の会長賞4点のうちの一つに選ばれたもので、表彰式は10月26日、愛媛県で開催された第32回全国育樹祭で行われました。皇太子や3千人の観衆が見守る中、国土緑化推進機構理事長から山内康二専務理事に表彰状が手渡されました。

阿蘇グリーンストックは、阿蘇の緑の大地（草原・森林・農地）を、国民共有の生命資産と位置

づけ、農村・都市・企業・行政の連携により、阿蘇の景観、水や農の営みを後世へ引き継いでいくことを目的に平成7年に設立された市民ボランティア型財団です。これまでに数々の「水源かん養の森づくり」や「草原の保全」に取り組んでいます。

主な活動として、企業との植樹活動（参加数延べ3,700人超、植栽面積30ha超）、野焼きや輪地切りなどの草原維持活動（延べボランティア数9,000人超）、また、シンポジウム等の開催で多くの人々に阿蘇の自然の大切さを伝えていきます。

いろんな国の若者が市を訪問！ホームステイも体験 ※3団体とも本市でホームステイ。



日独勤労青年交流事業としてドイツの若者23人が11月5～10日滞在。福祉施設や企業、市役所、保育園、バイオマスエネルギー実証実験施設などを視察しました。写真は宮地保育園での実習の様子。

「阿蘇、大好き！」
「景色きれい。人やさしい。」



韓国・ソムドリ合唱団（31人）が11月20～22日滞在。1004もの島々でなる新安郡の小・中学生で、21日は一の宮中でミュージカル「天使たちのハーモニー」を披露。本市も坂梨小が虎舞を、一の宮中が合唱を披露し芸術を通じ交流しました。



21世紀東アジア青少年大交流計画事業としてマレーシアの高校生22人が11月13～18日滞在。

波野高原やすらぎ交流館で地元高校生との交流、文化交流を行いました。